

平成 15 年度 外務省委託スキーム別評価「国際緊急援助隊評価」
在アルジェリア日本大使館に対する質問票

わが国の国際貢献の主要な柱の一つである ODA は、金額面では世界トップクラスの規模を誇る一方、近年ではより質の高い、効果的・効率的な援助の実施を求める声が国内外でも高まっております。これらの声に応えるべく、外務省でも ODA の評価に力を入れており、この度、「国際緊急援助隊」派遣制度を対象にプログラムレベル評価（スキーム別評価）を行うこととなりました。この評価の目的は、第一に「国際緊急援助隊」について総合的かつ包括的に評価し、今後のより効果的な実施の参考とするための教訓・提言を得ること、第二に評価結果を公表し説明責任を果たすことです。

この評価の一環として、外務省調査チームは本年 5 月 22 日から 6 月 19 日にかけて実施されました「アルジェリア国地震災害に対する国際緊急援助隊（救助チーム）、（医療チーム）、（専門家チーム）」派遣をケーススタディとして取り上げ、1 月 9 日～16 日の日程でアルジェリアでの現地調査を行い、情報収集を行う予定です。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮でございますが、以下の質問へのご回答にご協力いただきたく、よろしくお願い申し上げます。複数ご担当者や従事された方がいらっしゃる場合は、用紙をコピーの上、それぞれ別個にご記入下さいますようお願いいたします。まことに勝手ながら、ご記入いただきました質問票については、調査訪問時に回収させていただきます。よろしくお願い申し上げます。

回答者

氏名：

役職：

国際緊急援助隊 受入れに当たり果たした役割：

在任期間： 年 月 日 ～ 現在

Q1. 本件評価調査団は、既存のマニュアルや関係者へのヒアリングを通じて「国際緊急援助隊」の派遣に備えるための通常時及び派遣時における体制を整理し、在外公館においては以下のとおり実施すると理解しております。ついては、通常時及び実際の派遣時（「アルジェリア国地震災害に対する国際緊急援助隊（救助チーム）、（医療チーム）、（専門家チーム）」）における貴大使館の実施状況について、教えてください。

(1)通常時

以下の各項目についての実施状況について、A～D（A：明確に行っている、B：行っている、C：あまり行っていない、D：全く行っていない）から選択し、チェックをお願いします。さらにC及びDを選んだ場合はその理由を、また、いずれの場合においても改善の余地がある場合は改善案を、備考欄にご記入願います。

	マニュアル等によるデザイン	実施状況				
		A	B	C	D	備考
在外-1	担当者を決めておく					
在外-2	任国担当者と平時からのネットワーク構築					
在外-3	緊急援助責任者及び緊急援助担当者名等の報告（1月1日現在）					
在外-4	同責任者及び担当者の交替報告（交替時）					

(2)派遣時（一般）

以下の各項目についての実施状況について、A～D（A：順調に行った、B：行った、C：行ったが十分とはいえなかった、D：全く行わなかった。）から選択し、チェックをお願いします。さらにC及びDを選んだ場合はその理由を、また、いずれの場合においても改善の余地がある場合は改善案を、備考欄にご記入願います。

	マニュアル等によるデザイン	実施状況				
		A	B	C	D	備考
在外-1	本省への第一報（災害情報：災害の種類、発生日時、場所）、（被害状況：死亡者数、被災者数、負傷者数ほか）、現地連絡先、日本連絡先の確認					
在外-2	被災国への支援申し入れ（必要に応じ）（JICA等との情報を共有）					
在外-3	支援申し入れ結果を本省報告					
在外-4	被災国からの援助要請報告、外務省内関係各課への通報					
在J-1	JDR事務局への第一報					
在J-2	担当者を決め、実施体制を確立（情報収集）（Web siteで入手できる一般的な情報ではなく、以下のような被災現場のより詳細な情報）についての提供が求められる。） ①被害状況（アクセス、電気、水道、通信、家屋） ②治安（家事場強盗、反政府勢力）、2次災害の危険性 ③救助ニーズ（建築物の材質、構造） ④医療ニーズ（重症外科患者、感染症の流行、宗教上の理由で女医の必要性） ⑤専門家ニーズ、物資供与ニーズ ⑥任国政府の対応（災害対策本部、対応能力、国際アピール） ⑦諸外国、国際機関の援助実施状況					

在J-3	発災から援助実施決定までの在外公館事務の側面支援 (被災状況情報収集、ニーズ調査、ニーズと我が国緊急援助ツールとのマッチング、治安情報収集、任国政府の対応状況把握、他支援機関の援助実施状況把握など)					
在J-4	自発的に協力の申し出があった被災国派遣中のJOCV隊員について、任国配属先の承認を取り付ける。					
在J-5	JDR チーム受入のための事前準備 ①宿泊先の確保(医療チームは原則ホテル、救助チームはバスで仮眠、後にホテル) ②移動手段の確保(バス、トラック、4WD) ③物資購入(食糧、水、ガソリン、オイル、マラリア治療薬など) ④通訳の手配 ⑤通信手段の確保(携帯電話貸与)(チームはインマルサット、無線機を本邦から携行) ⑥治安面で不安がある場合は、在外公館とも協議のうえ警備を依頼(軍・警察) ⑦活動サイトの選定(LEMA,OSOCCと協議、活動サイト候補地の下見)					

(3)派遣時(現地)、専門家派遣

以下の各項目についての実施状況について、A～D(A:順調に行った、B:行った、C:行ったが十分とはいえなかった、D:全く行かなかった。)から選択し、チェックをお願いします。さらにC及びDを選んだ場合はその理由を、また、いずれの場合においても改善の余地がある場合は改善案を、備考欄にご記入願います。

	マニュアル等によるデザイン	実施状況				
		A	B	C	D	備考
在外-5	JDR チーム到着時 被災国情報ブリーフィング(最新被害情報、被災国・他援助国の活動状況、安全・衛生状況、便宜供与事項、一般的な現地事情(宗教、タブー、国民性)、活動サイト選定の助言)					
在外-6	JICA 事務所がない国・地域では、JICA 現地事務所業務の一部を実施					
在外-7	JDR チーム活動中 ①首都のドナー会合への出席、得られた情報をチームへ提供 ②チーム到着、チーム出発に当たり、ミーティングのアレンジ。被災国中央政府への報告(訪問)、同席。					
在外-8	チーム携行機材供与式(引き渡し式)の実施					
在 J-6	JDR チーム到着時 ①携行機材の通関・輸送(100 から 200 個と大量) ②被災国情報ブリーフィング(最新被害情報、被災国・他援助国の活動状況、安全・衛生状況、便宜供与事項、一般的な現地事情(宗教、タブー、国民性)、活動サイト選定の助言)					

在 J-7	JDR チーム活動中 ① 物資を調達しチームへ補充 ② (首都のドナー会合への出席、得られた情報をチームへ提供) ③安全情報(治安の悪化、2次災害)の提供 ④広報(チームからのデジカメ画像を活用。在外公館と連携しつつ実施)(日本及び被災地向け) ⑤携行機材の譲渡:医療班が携行した資機材は調査用資機材扱いとなつて、問題のない範囲で先方へ譲渡する ⑥帰国準備:帰国便のリコンファーム、機材の通関手続きなど					
在 J-8	チーム携行機材供与式アレンジ・実施の側面支援・参加					
在 J-9	援助隊活動中に大使館が行うマスコミ対応を側面支援					
在 J-10	チーム携行機材供与後のモニタリング調査実施					
在 J-11	援助隊活動終了後の評価調査(ミッションレビュー2)の実施					
在 J-12	プレス発表(在外公館と調整)					
在 J-13	報道振り／任国政府からの感謝／被災民の声などの広報素材の収集・報告					
—	(随時、広報活動を行う)					

Q2. 「国際緊急援助隊」の活動の、被災国における認識度合いについて調査しております。現地調査の際に、次の情報をご提供いただきたくお願い申し上げます。

1. アルジェリアにおいて JDR についての広報された新聞記事コピー、テレビ放映の概要。(本省に報告しているものは除く。)

および

- アルジェリア国におけるテレビ保有台数(1,000 人当たり)、
- 各主要新聞の販売部数

2. 国際的メディアに取り上げられた JDR の記事、概要。(本省に報告しているものは除く。)

Q3. その他本スキームに関してご意見があれば、教えていただきたく存じます。

以上